

す  
と  
しる

2020 #01 Murata Chihiro\_ while it goes / #02 Tomoeda Nozomi\_ after glow of vestige

酒清筆最  
標商錄壹



プロジェクト『すべ としるべ 2020』は、2020年6月末に前スペースを閉鎖した Gallery PARC が、その活動内容を変更して取り組む最初の展示企画です。京都府南丹市八木町にある「旧八木酒造」の築400年を超える酒蔵を会場に、2名のアーティストが滞在・制作し、それぞれ3日間のみ展示公開します。また、展示公開終了後には、それぞれの展示を記述した映像記録をオンラインにより公開するものです。

水を必須とする染織を「時をうつし見るための すべ」と捉える むらたちひろ は、永く水と関わってきた酒蔵に滞在するなかで、場の空気、水や音に触れながら、時とともに現れるもの・揺らぐものを見つめます。

インスタレーションを多く手掛ける友枝望は、旧八木酒造と土地の歴史、営為や暮らしに内在する重層的な記憶を拠り所に、現在と過去を多重露光のように重ね留める試みにより、これからの未来に向かうための新たな「すべ」を手探ります。

2名のアーティストがこの蔵で何を感じ・見出し・掴むのかはまだ未知ではありますが、現在の状況において、自身の表現に向けた眼差しを、再びここから先へと向け、手探りながらも前に進むためのしるべ（起点）となるのではないのでしょうか。

また、空間の中・作品の前に立ち、場の空気を深く吸いこみながら作家の眼差しや手つきを追うなかで、やがて自身の視点を獲得するような鑑賞体験は、鑑賞者にとって「いま/ここ」を確かめ、規程する「しるべ」ともなるのではないのでしょうか。

『すべ としるべ』は、これからの社会状況の中であって、展覧会における『つくる・ひらく・のこす』の関係性を検証し、現在とこれらに向けた新たな可能性を試行するための、ギャラリー・パークのプロジェクトです。

作家による表現（すべ）を社会に向けてひらく場（しるべ）である「展覧会」は、鑑賞者が会場を訪れ、作品の前に立つことでおこる「体験」ともなう場であるといえます。それはまた、空間・時間を限定することで可能なものであるといえ、それゆえに「展覧会」という出力方法は、現在からしばらくの社会状況に応じた変化が必要であるといえます。

本プロジェクトは、展覧会にまつわる『つくる・ひらく・のこす』という一連を、現在の状況において再検証・最適化するとともに、これらに向かう発展的な方法（すべ）を開発することを目的とした試行錯誤です。また、こうした試みが、これからの誰かの創意工夫の足掛かり（しるべ）になることを目指して取り組みむものです。

また、これまで多くの展覧会における記録（写真・映像・情報）が、まず事実を残すことを目的に、実際の鑑賞体験を補完する機能を担っていたといえます。しかし、実際の鑑賞による体験が困難となった現在において、展覧会の記録が果たす役割や機能も変化が必要ではないかと考えます。

そこで、本プロジェクトではとりわけ映像による展覧会の記録について、「のこす」だけではなくそれが「読まれる」時、そこに鑑賞と重なる・異なる、新たな体験を「つくる」ことに目を向けたいと考えます。

「読み物」としての記録、いわば「記録と記述」の狭間に展覧会が意識的に踏み込むことが、そこにどのような体験を「ひらく」ことが出来るのか。表現がこれからの社会に対応しながら、そこで起動するための術を編み出す機会にしたいと考えます。

これらに向かう（すべ）を編み直す。

ここから未知への道程に（しるべ）を残す。

これまでもこれからも、この繰り返し。



本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上 [info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

## すべ と しるべ

2020 #01

### 時の容 while it goes

むらた ちひろ Murata Chihiro

10月24日[土]・25日[日]・26日[月] 12時から17時 [予約制による3日間だけの限定公開]

協力 | オーエヤマ・アートサイト[会場提供]、今村 達紀、江島 和臣 / 武田 真彦

## すべ と しるべ

2020 #02

### 残影の残光 afterglow of vestige

友枝 望 Tomoeda Nozomi

11月14日[土]・15日[日]・16日[月] 12時から17時 [予約制による3日間だけの限定公開]

協力 | オーエヤマ・アートサイト[会場提供]、今村 達紀

オーエヤマ・アートサイト 〒629-0141 京都府南丹市八木町八木鹿草71「八木酒造」内

アクセス:JR「京都駅」より嵯峨野線(28分)で「八木駅」下車。「八木」交差点を越えて直進5分。突き当たり丁字路を右折1分。「八木酒造」入口より。京都縦貫道「八木東IC」より国道9号線、「八木」交差点を北東1分。駐車場はございませんので、なるべく公共交通機関でご来場ください。

料金 無料

予約方法 「お名前・当日連絡の取れる電話番号・希望日時・鑑賞人数」を記載し info@galleryparc.com までメールをお送りください。

特設HP・SNS [f subeshirube](#) [@sube\\_shirube](#)

主催・企画 ギャラリー・パルク \*京都府文化力チャレンジ補助事業

問い合わせ ギャラリー・パルク (正木・村田・岡田・今岡) 〒604-8115 京都市中京区雁金町373みよいビル202

TEL 075-231-0706 FAX 075-231-0703 MAIL info@galleryparc.com HP www.galleryparc.com

京都府南丹市八木町、築400年を超える旧酒造。

「酒造り」という営みの時間、地域の暮らしや歴史の面影を残すこの酒蔵に、むらたちひろ（染織）、友枝望（インスタレーション）の2名が滞在・制作し、それぞれ3日間のみ展示公開します。

染織を「時をうつし見るためのすべ（術）」と捉えるむらたは、酒蔵の空気、水や音に触れながら、時とともに現れるもの、揺らぐものを見つめます。



## すべ としるべ

2020 #01

時の容 while it goes

むらた ちひろ Murata Chihiro

10月24日[土]・25日[日]・26日[月] 12時から17時

協力 | オーエヤマ・アートサイト[会場提供]、今村 達紀、江島 和臣 / 武田 真彦

むらた ちひろ Murata Chihiro

<https://murata-chihiro.tumblr.com>

### ステートメント

染織の「染まる現象 / 染める行為」によって広がる色は、支持体の内・外、表・裏といったレイヤーを横断的に、または一体のものとして渉ることができる。

そこに内包される「時間」や「曖昧さ」を通して、隔たれながらも分かつことのできない世界 - 「過去 / 現在」・「自己 / 他者」・「内(精神) / 外(社会)」- の揺らぎを、うつし描くことができると考えている。

### 略歴

1986年 京都生まれ

2011年 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻修士課程修了

### 主な展覧会

2020 「写真と染のまじわるところ」( 染・清流館 / 京都)

2019 「京都府新鋭選抜展」( 京都府京都文化博物館 / 京都) 同'16

2019 「染・清流展」( 染・清流館 / 京都) 同'13',15',17

2018 個展「Internal works / 境界の渉り」 ( Gallery PARC / 京都)

2018 個展「Internal works / 満ちひきは絶え間なく」( ギャラリー恵風 / 京都)

2018 藤原隆男 京都市立芸術大学退任記念展「ほしをみるひと」( 京都市立芸術大学 Gallery @KCUA / 京都)

2018 「PHO-TEX」( GALLERY GALLERY / 京都)

2017 個展「Internal works / 水面にしみる舟底」( ギャラリー播 / 京都)

2017 未来の途中プロジェクト「その後の、未来の途中」( 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 / 京都)

2017 未来の途中プロジェクト「未来の途中の、途中の部分」( 京都市立芸術大学 Gallery @KCUA / 京都)

2016 未来の途中プロジェクト「未来の途中のリズム」( 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 / 京都)

2016 ARTIST WORKSHOP @KCUA 成果発表展 ネリー・ソニエ「FEATHER」( 京都市立芸術大学 Gallery @KCUA / 京都)

2015 「新鋭染色作家選抜12人展 - 染めに拓く -」( 染・清流館 / 京都)

2015 「Contemporary NOREN」( 京都芸術センター / 京都)

2014 個展「時を泳ぐ人」( Gallery PARC / 京都)

2014 「THE GIFT BOX アーティストが提案する特別なギフト。」( 京都府京都文化博物館 別館ホール / 京都)

2014 「Kyoto Current 2014」 ( 京都市美術館別館 / 京都)

2013 「染+ - わたしにまつわるそめのはなし -」( 染・清流館 / 京都)

2012 個展「水たまりアルバム」( Gallery Ort Project / 京都)

### 受賞

2011 京都市立芸術大学制作展, 奨励賞

2009 京都市立芸術大学制作展, 同窓会賞

### 展覧会評

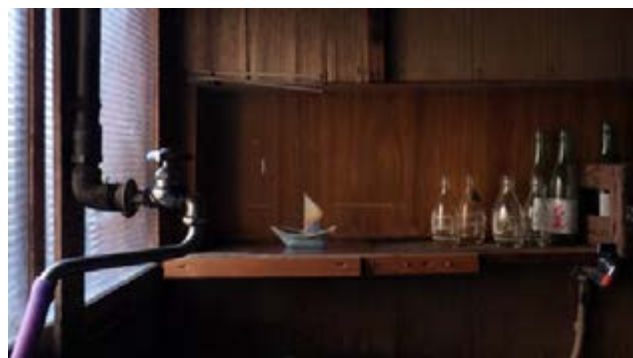
2018 高嶋慈氏 | artscape 2018年7月15日号 |

([https://artscape.jp/report/review/10147415\\_1735.html](https://artscape.jp/report/review/10147415_1735.html))

2017 平田剛志氏「染色の起源へ」 | カタログ「境界 borders / boundaries |

2017 高嶋慈氏 | artscape 2017年6月15日号 |

([https://artscape.jp/report/review/10147415\\_1735.html](https://artscape.jp/report/review/10147415_1735.html))



展示予定作品イメージ 《beyond》 2020 綿布・染料・水



展示予定作品イメージ 《planet》 2020 映像、綿布・染料

京都府南丹市八木町、築400年を超える旧酒造。

「酒造り」という営みの時間、地域の暮らしや歴史の面影を残すこの酒蔵に、むらたちひろ（染織）、友枝望（インスタレーション）の2名が滞在・制作し、それぞれ3日間のみ展示公開します。

染織を「時をうつし見るためのすべ（術）」と捉えるむらたは、酒蔵の空気、水や音に触れながら、時とともに現れるもの、揺らぐものを見つめます。



## すべ と しるべ

2020 #02

### 残影の残光 afterglow of vestige

友枝 望 Tomoeda Nozomi

11月14日[土]・15日[日]・16日[月] 12時から17時

協力 | オーエヤマ・アートサイト[会場提供]、今村 達紀

### 友枝 望 Tomoeda Nozomi

<http://www.nozomitomoeda.net>

#### ステートメント

相対性や類似性を手掛かりに、様々な場所や素材に行為を加えて、観察や検証の対象とする作品制作を行う。

#### 略歴

1977年 大阪生まれ

2001年 広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科 卒業

2002年 ハノーファー専科大学美術科に6ヶ月間交換留学  
2003年 広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程 修了  
2006年 広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程 単位修得退学  
2009-2010年 ハンブルグ美術大学彫刻科、及び時間ベースメディア科在籍

#### 主な展覧会

- 2020 「カナリアがさえずりを止めるとき」(広島市立大学芸術学部CA+トラボラトリ、Alternative Space CORE、広島)
- 2019 「Identity XV -curated by Meruro Washida」(nca | nichido contemporary art /東京)
- 2019 「美術館の七燈」(広島市現代美術館/広島)
- 2018 個展「Comparisons」(Gallery PARC /京都)
- 2016 「BLACKLISTED」Seoul Art Space GEUMCHEON /ソウル、韓国)
- 2016 プロジェクト「Wadden Tide 2016 - Contemporary art project」(Blåvandshuk/ブラバント、デンマーク)
- 2016 「常設展 2016- I 広島にゆかりのある作家の作品展 |1| フェノメノン」(ART GALLERY miyuchi /広島)
- 2015 個展「アートいちほら 2015春 Alignment - 友枝望」(アートハウスあそびらの谷/千葉)
- 2014 「中房総国際芸術祭 いちほらアートxミックス 2014」(IAAES\_旧里見小学校/千葉)
- 2013 個展「CLUSTER」(大阪府立江之子島創造文化芸術センター/大阪)
- 2013 「More Less」(WCW Gallery/ハンブルク、ドイツ)
- 2011 「salt sea sugar ship」(ae GALERIE /ポツダム、ドイツ)
- 2011 個展「Entschuldigen Sie, dass ich Sie während der Arbeit störe.」Bürogemeinschaft Senefelderstraße、ベルリン、ドイツ)
- 2010 プロジェクト「DOCKVILLE KUNST 2010: RECREATION」(Reiherstieg Hauptdeich, Ecke Alte Schleuse, Wilhelmsburg-Hamburg /ハンブルク、ドイツ)
- 2010 「We are the islands」(クンストラウム クロイツゲルグ\_ベタニエン/ベルリン、ドイツ)
- 2010 「almost the same, but not quiet/48Stunde Neuköln」(ノイケルン地区 /ベルリン、ドイツ)
- 2009 「STRANGE LOOP」(GALERIE GENSCHER /ハンブルグ、ドイツ)
- 2009 プロジェクト「広島アートプロジェクト 2009」(広島市吉島地区)
- 2008 プロジェクト「広島アートプロジェクト 2008」(旧日本銀行広島支店ほか)
- 2008 プロジェクト「Camp Berlin」(B.V.G halle /ベルリン、ドイツ)
- 2007 プロジェクト「広島アートプロジェクト - 急中工場アートプロジェクト - 超高品質なホコリ展 -」(広島市旧中工場ほか/広島)



《CLUSTER - Ornamental Artifact -》 2013 置物、写真、置物データ資料 サイズ可変  
江之子島文化芸術創造センター



《Transparency sequence - Glass -》 2015/2017 ガラス瓶 サイズ可変  
Gallery PARC

京都府南丹市八木町、築400年を超える旧酒造。

オーエヤマ・アートサイト

\*画像は2020年に開催した展覧会「形代：小出麻代」展示風景  
撮影：麥生田兵吾

